

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長岡福祉協会	代表者	田宮崇	法人・ 事業所 の特徴	自分や家族・友人が利用したいと思うサービスを提供します。 通所・宿泊・訪問この3つを自由にその方にとって必要な支援を組み合わせ、その時の体調や状況によって柔軟なサービスを提供しています
事業所名	小規模多機能型居宅 介護アネックス関原	管理者	松田 悠一		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	3人	1人	1人	1人	人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業所自己評価の係を中心に毎月のミーティングで進捗状況を確認し、計画を進めて行く。 	<ul style="list-style-type: none"> サービス評価の担当職員が毎月のミーティングで各項目について説明し評価につなげた。 月に1度、自己評価について面談し改善点などの話し合いを行った。 	<p>2か月に1回しか来ないが事業所自己評価を見ていると色々な仕事をして忙しい中で項目を上げて振り返りながら進めていると思うと素晴らしい。また、「よくできている」「なんとかできている」の評価をつける職員が多いので目標の達成に向けて努力しているのがわかる。忙しいので研修などをなかなかできていないのか見てわかる。</p>	<p>①事業所自己評価の項目毎に担当を決め、毎月のミーティングで進捗状況を確認していく。今年度「できていない」の評価が多かった研修は特に力を入れて取り組む。</p>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備の係を中心にご利用者と一緒に季節の花の苗や種を購入する。 ご利用者と一緒に季節に合わせた創作活動や飾りつけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境整備の係の職員を中心にご利用者と一緒に季節ごとの花の苗や種を買いに行き、ご利用者と一緒に事業所の花壇やプランターで季節を感じられる取り組みを行う。 業務の都合で取り組めない時もありますが、ご利用者と一緒に創作活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 看板があることで覗いてみたいと思える。テラスも明るい雰囲気なので入りやすい。 冬季間など閉まっている時にも入りやすさを求めると難しい。 地域の方の作品展示なども見たいので地域の方へのアプローチもしていても良いのではないかな。 	<p>①ご利用者に季節を感じる装飾や居心地の良い空間を聴きながら一緒にしつらえについて検討し実施していく。</p> <p>②テラスの活用などで事業所に来て下さった地域の方に過ごしやすい環境を確認していく。</p> <p>③地域の方の作品を展示していく。</p>

<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回(1、4、7、11月)広報誌を発行し啓発をしていく。 ・参加できるご利用者と一緒にクリーン作戦や花いっぱい運動の参加の継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、7月と広報誌を発行し11月発行分は現在作成している。 ・毎月の公園清掃や花いっぱい運動の花植えにご利用者と一緒に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミセンや小学校との関わりを持ち、その過程の中で地域のケアマネにも周知ができています。 ・地域の方に来ていただいたり、地域の方に出向いて行くことで、地域の方との関わりが増え、より挨拶が良くなっていくと思うので、より良いコミュニケーションが取れていくので、実践の中で職員が実行できる形を期待する。 	<p>①クリーン作戦や花いっぱい運動の参加は継続し、管理者だけではなく他職員も一緒に参加できるように調整していく。</p> <p>②テラスでのお茶会や地域の方の作品展示などを企画し関わりを持つ。</p>
<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町内のサークル活動と交流する。 ・コミュニティーセンターと連携し年間行事を把握し参加していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町内のサークル活動との交流はできてない。 ・コミセンの福祉担当の方と連携しサークル活動や食事会の日程を教えていただき食事会などに参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコミセンなど大きな括りで活動したが次年度以降は状況を見ながら事業所の行事に近所の方に参加していただき、より近所や地域の方との関わりができるように切り替えていくと良い。 	<p>①コミセンで実施している茶話会やサークルに参加する。</p> <p>②ご利用者の今までの生活を知るように情報を集め、その中で地域の行きつけのお店や馴染みの場所があれば出向く。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの職員が運営推進会議に参加する機会を作る。 ・ご利用者の支援について運営推進会議で意見交換することで地域課題をみつけ共有していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回は難しいですが、参加できる時は介護職員も参加している。 ・今年度はエアコンを嫌がるご利用者の事例を通して意見交換ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1回の会議で完結してしまう事業所もあるが、ここは会議で出たことを継続していることがすごく印象的。地域のことにしても考えたことを伝えるだけではなく、実践した、していないとの報告もあり、継続性がよくわかる。地域密着型サービスではないと地域の声を開けないので、地域との連携だったりをアピールしていけるので有意義な会議だと思う。 ・意見をもらったら、改善したこと、取り組んだことを伝えることで、より安心して自分たちの考えを伝えたり納得して利用することにつながると思う。 	<p>①運営推進会議に職員が参加する機会を継続して作る。</p> <p>②ご利用者の支援について運営推進会議で意見交換することで地域課題の発見につなげたり、地域の意見を吸い上げる機会を作る。</p>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の避難訓練への参加を継続していく。 ・事業所の防災訓練に参加していただき意見をいただく。 ・災害時に、町内会と連携し、避難所の開設状況や必要な方を事業所で受入れができるように事前に連絡方法などを検討しマニュアルを作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の避難訓練は中止になり参加できなかった。 ・事業所の防災訓練ですが、出勤人数の関係で運営推進会議の日に実施ができなかったため、今年度中に実施できるように計画。 ・町内会と連携しての連絡方法は検討できていないが、コミセンが避難所として開設された際には連携していけるように、今後話し合いをする予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に地域の方々が一時的に避難することができ、暖が取れる囲炉裏もあり、備蓄品もあるので焼きながらしばらく時間をつなぐことができる。こぶし園や県、市からも救援物資が届くので時間をつなぐことができる。地域の方々については一時的に事業所に避難していただき、ご家族の体制が整い次第迎えに来ていただくといった対応が取れるので地域交流スペースを活用しながら事業所が災害時の拠点だったり避難場所になると理解できるようにつなげていく。 ・普段から地域の方と一緒に囲炉裏を使った企画を実施していくと囲炉裏があると理解してもらえ、事業所の防災計画の理解や災害時に頼りになると安心してもらえるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の避難訓練への参加を継続していく。 ②囲炉裏を活用した行事を企画し地域の方に暖が取れ一時的に避難することができる場所になるという理解につなげていく。
----------------------------	--	--	--	--